

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 北秋田市議会 12月定例会

順位	2-2	質問者	7 福岡 由巳	(無会派)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨					理 事 者 の 答 弁	
1. 大野台ハイランド憩の森の整備について ①憩の森を整備促進することについて 1) 北秋田市大野台ハイランド憩の森（以下「憩の森」）は、現在、利用しているグラウンドゴルフ場を除いて整備されているように見えず、市民が立ち入ることは危険な状況である。 市の管理でありながら放棄地同様になっている。あつてはならないことであり、早急に整備することを求めるがどのように考えているか。 2) 憩の森全体の整備が急務であるが、特に、避難所としての体育館、戦没者慰霊の平和観音までの参道、旧合川町第1回からの誕生の森（記念植樹）の原状回復、展望台、3か所の四阿とそれに通じる歩道等々急がれるよう求めるが、計画はどのようになっているか。 3) 憩の森内にはN T Tの建物や新生園の立て札がある。どうなっているのか。 4) 憩の森の予算は、グラウンドゴルフ場整備のための油代15万円だけ。憩の森全体の整備費の予算を計上すべきと考えるが、何故そうしないのかその理由を求める。 2. 森吉山県立自然公園の国立又は国定公園への格上げと公園利用の推進について ①環境省は、森吉山県立自然公園を国立又は国定公園の新指定候補地に選定した。これに対する市の方針はいかなるものか。 1) 新聞報道によると去る6月14日、環境省は「生態系や特徴的な地形を保全するため」国立公園の拡張や国定公園の新規指定地域の候補を発表した。その中に森吉山も候補地として選定された。 この環境省の方針は、国際目標（30by30 ロードマップ）の達成に向け、まずは国立・国定公園の拡張から始めようとする国際公約の一環とし進めるゆるぎない環境省の自然公園の見直し政策である。 森吉山がナショナルパークとして、国立・国定公園に格上						

げされることは、今後も公園整備の推進や利用の増進に向けての知名度アップにつながる待ち望んだ機会であり、これまでの格上げ運動を締めくくるよう、市が先頭に立って実現しなければならない政策である。市の方針はどうか。

- 2) 現在、市が進めている森吉山荘の無償譲渡案では応募すべき民間事業者には厳しい条件であり、結果的に森吉山荘の廃止になりかねない。よって、公園利用の増進にむけて、森吉山荘は再度指定管理者制度により募集すべきと考えるが市長の考えを伺う。

3. オオシラヒゲ草と口曲がり地蔵について

①オオシラヒゲ草の天然記念物指定が遅い理由について

- 1) オオシラヒゲ草の「市指定天然記念物」を提案してから2年経過しているが遅れている理由は何か。

②口曲がり地蔵の市指定文化財のその後について

- 1) 口曲がり地蔵は、昨年2月1日付けで市指定文化財に指定されたが、その後どのように扱われているか。動きが見えない。

4. 教員住宅の環境整備について

①合川地区の教員住宅について

- 1) 合川地区の居住している教員住宅2棟は、屋根の傷みがひどい。何故、ひどくなるまで放置しておくのか。早期に整備を。また、空き家3棟の屋根の傷みはそれ以上にひどい。解体以外の活用はないか。